

第4章

建設業者の取組事例紹介

建設業の未来を創る働き方改革 その先にある持続的発展

株式会社 丸西組

会社概要

代表者	代表取締役社長 西 正次	所在地	小松市白江町ト121-1
資本金	3,500万円	従業員数	59名
直近決算売上高	4,650,664千円	連絡先	TEL 0761-22-6100

会社本来の魅力を伸ばすための「働き方改革」を

1949年に創業した丸西組は、戦後復興に関わる事業など様々な土木工事を主要事業として40年を経た後、建築工事においても実績を積み重ね、小松の地で土木・建築の両輪を生かし、かつ地域社会に寄り添った経営を行っております。また、2000年以降は高齢者福祉事業という新たな分野にも進出し、これまでに小松市内で老人ホームを3ヶ所立ち上げ運営しています。そして創業70年を迎えようという今、構築されてきた事業をさらに磨くべく、働き方改革に取り組んでいます。

一般的に建設業における働き方改革を考える際、労働時間に関する話題ばかりに集中しやすい傾向があります。しかし、その一点だけを改革しても、従業員の活力が上がらなかつたり、生産性の改善がなければ、事業のさらなる発展は望みにくいでしょう。丸西組は、いかにして顧客満足と従業員満足を得て、会社本来の魅力を伸ばせるか、いかにして持続的に発展する基礎を固めるかを改革の重要課題として、「制度」「環境」「意識」を変える働き方改革に取り組んでいます。

健康増進を軸とした取り組み

私たちは、決められた時間内に効率的に仕事をやり切る(残業が当たり前の働き方からの転換)、意欲を持って生産性の高い仕事をする、休日を確保し人生の仕事以外の部分の充実を図ることを働き方改革の基本と捉えています。そのためには、従業員の健康増進が不可欠です。健康を害するような無理をかける働き方がまかり通るようでは、改革は何も始まりません。

丸西組では、特定の一人だけに過度な業務負荷がかからないよう部内でのワークシェアを推進してい



市民レガッタ



健康増進に向けた取り組み

社員旅行

る他、業務で使用する情報システムの見直しを図っています。それまでは煩雑だったシステムの改善により業務時間の短縮を見込んでいます。それに加え、社内会議で運動不足に効くトレーニングについて学んだり、従業員の福利厚生としてスポーツジムを積極活用したり、産業医の先生からご指導いただくなど、従業員自身の健康に対する関心の向上を図っています。結果、振替・有給休暇の取得回数が全体的にも増加し、また、社員間の交流も次第に増え、業務の連携においても良い効果が生まれています。

一人ひとりが持ち味を存分に生かせる環境を

近年、丸西組でも女性の技術者が増える中、技術者に限らず事務部門の従業員も含めた女性社員限定の研修・交流を実施する等の取り組みを行っています。自主性を重んじて、女性特有の能力を発揮できる場面をより多く講じることで、より会社全体に活気が生まれています。

本来女性に限らず、従業員一人ひとりが異なる経験を積み、異なる特長を持っています。一人ひとりを同じ枠にはめることなく、一人ひとりの働きがいに目を向け、仕事を通じて生き生きと活躍し自己成長を遂げられる環境づくりを進めていきます。



女性の活躍

働き方改革が意欲ある未来の担い手を呼び込む

働き方改革は、労働時間を短縮させることが目的ではなく、自由になった時間を従業員がどのように活用し、成長につなげるかこそが大切な目的です。もちろん休みを取ることも必要なことですが、教育の機会として活用することもまた必要です。そもそも無理がかかった状態の人は、仕事を終えるのが精いっぱい、自己の成長も部下への教育もおろそかになります。従業員一人ひとりが仕事を通じて成長し、学ぶ意識の高い会社こそ意欲ある未来の担い手が集まると考えます。当社は、創業70周年へ向け持続的発展を可能にする働き方改革を進めてまいります。



出前講座



地元の小学生に向けた現場見学会

働き方改革の先にある『はたらきがい』のある企業を目指して

みづほ工業 株式会社

会社概要

代表者	代表取締役社長 梅谷 基樹	所在地	金沢市八日市5丁目562番地
資本金	3,500万円	従業員数	45名
直近決算売上高	3,600,000千円	連絡先	TEL 076-240-7010

【はたらきやすい】環境作りから始める【はたらきがい】のある企業作り

昨今、建設業界のみならず、どの業界も人手不足に陥っています。弊社では、新卒社員や中途採用者の方に来て頂ける様な魅力ある会社になりたいとの思いから、【働き方改革】の一環として従業員が【はたらきやすい】環境を整え、より【はたらきがい】のある企業に発展する事を目指しています。そこで始めたのが【3S(サンエス)活動】です。【3S】とは、整理・整頓・清掃ではなく、【整理・収納・清掃】の略であり、この取組によって労働時間が短縮されただけでなく、さらに経費が削減されるという副次的な効果もありました。

3 S 活動 (整理、収納、清掃)
3 S 活動による節電時間

場所	出入人数 (人)	作業部 作業時間 (分)	作業部 作業時間 (分)	短縮時間 (分)	1人1日標準 出入人数
事務所 カウンター	6	5	1	4	48
倉庫の 整理	12	5	1	5	120
倉庫(1階)	6	10	3	7	84
倉庫(2階) 備品等	6	6	3	3	36
倉庫(2階) 器具	6	8	3	5	60
合計	36	35	11	24	348

3S活動で無駄な時間と経費を削減

また、【時間には限りがあり、無駄な時間を無くし、大切な人のために時間を使おう】というスローガンを掲げ、今までの業務を常識と思わず、本当に必要な事なのか改めて考える機会としています。

今までの常識を常識と思うことなく!

【3S活動】をスタートしたのは3年前で、【働き方改革】が注目される前から取り組んでいます。

まず第一に【定位置管理】を行いました。弊社には倉庫が幾つかありますが、雑然と図面やコピー用紙等々、沢山の書類が床に置かれており、決まった場所もなく、倉庫に置いてあるものが、個人のものか会社の物かも不明な状態でした。そこで、まずは倉庫に大量にある図面を整理し、収納場所を確保したほか、現場備品関係を収納する棚を設置し、【定位置管理】を徹底しました。

そして、対象を各事務所内(総務、営業、工事)に広げ、事務用品・備品関係の【定位置管理】を徹底しました。それまでは総務へ備品等の保管場所を聞いていたため、手を止める原因になっていました



before



3S活動

after

が、今では個々で探す事が可能となり、総務の負担が軽減しました。

社内の誰もが常識、当たり前前とっていた事を常識と思わず、誰でも一目で分かる【はたらきやすい】環境を整える事で労働時間の短縮にも繋がり、無駄な時間を削減できたと実感しております。

また、目に見えて職場環境が良くなっていくので、喜びを感じるようになっていきました。

全社員参加で社内が活発に!

この【3S活動】は全社員が作業を行っております。当初はベテラン社員(課長級以上)がリーダーとなり、活動を行っていましたが、その際、若手社員から、『活動する人が固定化されており、また、ベテラン社員が動かないことを指摘しづらい』との声を受けました。そこで、若手社員と面談を行い、リーダーを若手社員に変更することを提案すると快く承諾して頂きました。さらに、職場環境の改善に伴い、総務の若手社員から『社内を飾り付けし、来社される方が入り易い環境にしたい』との提案も頂きました。【3S活動】によって若手社員が積極的になった事に対して、驚きと共に非常に嬉しく感じています。

このように、【はたらきやすい】環境づくりを進める中で、社員同士のコミュニケーションが活発になったほか、従業員の考え方を知る機会を得たり、本当の【おもてなし】とは何かと考える良い機会となっています。

また、多くの社員からお客様感動改善提案書が提出され、様々な提案が採用されています。

今年に入ってからは弊社の活動を見るために、北は北海道から南は九州まで、全国から企業見学に来て頂く事が増えています。この企業見学に来られる事で活動にもより【やりがい】が生まれ、どうすればご来社頂いた方をさらに【おもてなし】できるか、日々奮闘しております。



社内を飾り付け

さらなる高みを目指して!

【はたらきやすい】環境を作ることによって、従業員一人、一人が活気ある職場に変わり、【はたらきがい】ある企業に発展すると感じております。個々の能力向上やチーム力の向上にもつながることから、会社としても取組を全面的にバックアップする事が大切だと考えています。

現在、さらに【はたらきやすい】環境を作るため、どこからでも承認・決済ができるようグループウェアの導入を進めています。この様に、1年先、5年先、10年先、20年先を見越し、さらに【はたらきがい】のある企業へ変化する事を目指して進んで行きたいと考えております。



従業員にて決意

これからの建設業は物づくりから人づくり・職人づくりの時代へ

小倉建設 株式会社

会社概要

代表者	代表取締役社長 小倉 一夫	所在地	羽咋市柳橋町五俵刈5番地
資本金	3,000万円	従業員数	79名
直近決算売上高	2,793,728千円	連絡先	TEL 0767-22-2132

職人の不足と多能工の育成

近年、土木工事・建築工事において職人が不足しており、このままでは工期に影響が出たり、不良工事が発生することが危惧されます。同様の人手不足は、当社の下請業者の方々においても見受けられます。そこで、当社では職人不足への対策として、数年前から、多彩な技能を身につけた職人、いわゆる多能工を育てていこうと考え、高校生の新卒者より「建築大工、多能工」職人の募集を始めました。

これまでは土木工事や建築工事といった異なる分野の現場で学ぶ機会がなかったのですが、多能工を目指して入職した方には多種多様な現場で経験を積ませるよう取り組んでいます。どうやって育てていくか、まだまだ試行錯誤が続いていますが、様々な現場で経験を積ませることは、色々な人と関わり合うことになるため、若者が気の合う同期・先輩と接する機会を作ることにもつながると考えています。つまり、多能工の育成を目指すことで、若い担い手が働き続けられる環境を作り、離職を防ぐことにもつながると考えています。

多くの若者がIT関係の職業に憧れをもっている時代が続いていますが、自分の手で何かを作り上げる、いわゆる手仕事(技術)を身に付けたいと考える若者も少なからずいます。その人たちに門戸を開き、受け入れる場所(職場)を提供していきたいと思い、今後も募集を続けていきたいと考えています。今年度は、3名の新規高卒者を採用し、うち2名は職人を希望しています。

男性の多い職場における女性の活躍

建設業は、女性が現場監督、建設機械運転手等として働くことができる職場であるということがまだまだ浸透していないと感じていますが、人手が不足されると言われるこれからの建設業において、女性の活躍は大変重要となります。当社では現在、女性2名が現場監督として働いております。建築現場における女性の現場監督は、女性の目線でアドバイスできることから、特に女性の施主様に大変人気があります。このように、女性のきめ細かさや心配りが、施工するうえで大きなメリットとなり、更なる受注につながるという可能性も考えられます。

数年前「日本女子柔道界でママでも金メダル」という言葉が流行しましたが、当社としても若い女性や家庭を持つ女性が活躍できる職場づくりを推進しています。産休・育休制度の整備はもちろんのこと、出産をし、育児をしながら働く社員への配慮を社内呼びかけるなど、産休・育休が取りやすい雰囲気を作ることを心がけています。当社では、実際に育児をしながら現場監督として働く女性がいるので、引き続き会社として支えていきたいと考えています。

ICTの活用における労働生産性の向上

現在、国等の公共事業では、測量・設計・施工・出来形品質管理・提出(納品)といった幅広い分野でICTの活用を進めており、当社ではそれに対応するため、地上型レーザースキャナーや設計・出来形ソフトウェア・MCバックホウ・MCブルドーザ・転圧管理システム等の多彩な建機・機材を導入しています。

ICT施工を導入することで、ベテラン技術者のノウハウや経験に頼っていた部分を、機械のサポートによって経験の少ない社員でも施工できるようになるため、労働生産性を向上させる効果が期待できます。当社では、ICT施工の全工程を当社社員で行えるよう、外部講師による講習会を開催するなど、社内教育を積極的に行い社員の育成・指導をしています。今後、様々な経験を積み重ね、ICT施工による工程促進・安全性のアップ、さらにはコストダウンへつなげられるよう努力し、自社ブランドの確立を目指します。



ドローン講習



ICT施工講習



LS講習



3次元設計講習

物づくりから人づくり・職人づくりへ

人出不足と言われる中、新卒者を獲得することはもちろん必要ですが、これに加えて当社では「人づくり・職人づくり」をキーワードに、多能工の育成・女性の活躍推進・ICTの活用(労働生産性の向上)に取り組むことで、人出不足に対応していきたいと考えています。まだまだ始まったばかりであり、試行錯誤しながらではありますが、着実に取り組んでまいります。